

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

事業所名	グループホーム なかよし
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	大阪府 枚方市
記入者名 (管理者)	小仲 直弥
記入日	平成 19 年 6 月 28 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的雰囲気、地域との関わりを大切にし、入居者が落ち着いて、その人らしく暮らせる事を理念としている。	○ 家庭的な環境と地域との交流の下で、当たり前暮らしながら人としての尊厳を大切に生きられるよう、スタッフ一同支援を心がけています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関廊下、リビングなど見やすい場所に掲示と、グループホーム10原則を掲示し、スタッフ一同実践の取り組みを行っている。	○ グループホーム10原則を掲示して、スタッフ一同実践の取り組みを行っています。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域ホーム便りにて、認知症高齢者の理解、グループホームの役割、取り組みなどを作成し回覧しています。	○ 前回のホーム便りは、認知症の基本知識をお知らせしましたが次回では、認知症の方のケアの仕方等について案内していこうと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の挨拶は勿論、行事(バーベキューなど)の参加の呼びかけや、一人暮らしのお年寄りの来訪など、気軽に立ち寄っていただいています。	○ 近所の方々には、散歩時、外出時には、花をいただいたり、ベンチの設置など、ご好意を受けています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、積極的に地域行事(夏祭り、運動会、敬老会)などにも参加し、地域交流を行っています。地域も、協力的に便宜を図ってくれています。	○ 運営推進会議においても、民生委員さんなどに、自治会などに協力できる事など相談しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域包括の方とも協力し、一人暮らしの老人に気軽に立ち寄りてもらったり、訪問したりしています。	○	高齢者が多い地域なので、より一層地域との関わりを大切に、地域に貢献していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義について、職員とも話し合い理解に努めています。 職員全員が、前回の指摘事項を常に認識し、改善を図っています。	○	家族の意見、要望などが、よりわかりサービスの向上に努めています。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H18年6月より第1回運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、ホームの取り組み、報告又意見を取り入れサービスの向上に努めています。	○	隣接する地域の独居高齢者の方も遊びに来られるので、変化や現況の様子を包括支援センターにお知らせしている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	問題点を含め、常に高齢社会室に相談し、サービス向上のための指導を受けています。 また、枚方市キャラバンメイト養成講座に参加する等、市の企画にも積極的に参加し情報共有に努めています。	○	空き部屋の情報公開をしています。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者対して、成年後見制度を活用した実績があります。 弁護士が財産管理を行い、社会福祉士が後見人となり、連携を取りながら終末介護まで行いました。 スタッフ全員の協力の下、十分な介護が行えました。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設長およびケアマネが研修に参加しています。 スタッフには、虐待に対する十分な理解をさせるため、内部研修を行って資料を回覧して防止に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書と口頭で十分に説明し、理解、納得、了解を図っています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回介護相談員さんに訪問いただき、利用者さん個々に面談して意見や不満を聞いてもらう機会を設けている。また家族さんには、希望・不満・意見を言いやすいよう、こちらから問いかけをする。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回文書にて、暮らしぶり、写真を含む様子報告をお送りしています。 来訪時には、個々にあわせて健康状態、金銭管理、職員の移動について、報告をしています。	○	容態の変化、受診の報告は随時行っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で家族からいただいた意見をスタッフと十分に検討し、今後の運営に反映させるようにしています。 苦情処理マニュアルを作成し、スタッフにも十分理解させ報告を行うよう徹底しています。重要事項説明書に苦情相談窓口を明記している。現在までのところ具体的な事例は発生していません。	○	運営推進会議で家族からいただいた意見をスタッフとさらに十分に検討し、今後の運営に反映させるようにします。 苦情受付記録簿を設置しています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を常に設け反映させている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前にわかっている事はスタッフの話し合いで調整し、その他は施設長が対応している。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設4年半、殆ど入れ替わりがなく、なじみの関係が保てる様にしています。	○	常に職員は代表者、管理者とも話しやすい状況であり、気軽に話せる様に心がけ、スタッフ、入居者共、楽しく過ごしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全国や各地域のさまざまな取り組みについての資料や文献を日常的にスタッフに提供しています。</p> <p>2ヶ月に1度内部研修を行い、スタッフの育成を図っています。</p>	○	<p>内部研修の教材の充実をはかり、スタッフの質的向上をはかっていきたいと思っています。</p> <p>また、スタッフに合わせた外部研修を検討し、順次受講出来る様にしていきたいと思っています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護支援専門員連絡会 施設委員会の役員をしており、施設研修会、勉強会や、相互訪問等を行っています。</p> <p>新規事業所などには、訪問挨拶などを通じ交流し、ネットワークづくり、情報交換、質の向上に取り組んでいます。</p>	○	<p>現在行っている相互訪問の枠を広げ他の施設との連携を深めていきたいと思っています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務時間など相談し、働きやすい時間帯を取り決めている。</p> <p>また、気軽に話せる環境作りに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>それぞれの得意分野を把握し、信頼して任せることにより、各自が責任を持ち働けるようにしている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人、ご家族同伴で見学してもらい、ご希望により体験入居をしていただき、納得の上、入居が決まればより多くの情報収集で理解し、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族さんとの話し合い、本人を交えての話し合いで不安や心配、入居後の要望を聞き取り、出来る事、出来ない事も納得して入居してもらっています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じたサービス機関の紹介をしている。	○	当ホームが、満室の場合など、他のホームの紹介など、させていただきます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来るだけ体験入居にて、納得の上入居してもらい、馴染の物を持ってきていただき、徐々に馴染みを深めるように入居前の生活の把握をするようにしています。	○	施設見学、体験入居、行事の参加などをしていただく事により、馴染みやすい雰囲気作りをしています。
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活し、食事についても一緒に同じ物を食べ日常生活の中で喜怒哀楽を感じ合い、本人の人生経験の知恵などを学んだり、その時の状況に応じお互いに支えあっています。	○	本人の過ごされた人生の話などをスタッフ皆で傾聴し、そこから学び合う様にしています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事にも参加してもらい、喜怒哀楽を共にし、通院にも同行したり、一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会・外出の支援をし、誕生会やホームの行事に参加してもらっている。	○	誕生会やバーベキュー大会、お花見に参加してもらったり、年賀状などもお願いしている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前暮らしていた家を見に行ったり、馴染みのスーパーでの買い物にも出掛けています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	少人数なので利用者とスタッフがひとつの話題で盛り上がることも多く、利用者同士の会話も弾みます。	○	朝は利用者同士で起こしに行ってもらったり、整容など助け合いをしてもらう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られた利用者さんを、年2～3度訪問し関わりを大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族からの聞き取りにより、思いや意向を把握し、希望を大切にしている。	○	今までの病院に通院の支援、カラオケ好きの方には、地域の夏祭りで得意の歌を披露してもらっている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には、ご家族、利用施設等から生活歴や馴染みの暮らし、既往症などの情報提供をお願いして把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックや動作、表情、食欲、言動に気をつけて把握に努めている。		
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネを中心に本人、家族の希望、係り付け医師のアドバイスを基にスタッフ、家族と話し合い、意見やアイデアを出し合い、より良く暮らすための介護計画を作成している。	○	個々の状況の変化に合わせて、必要時随時見直しをしています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した期間に応じた見直しを実施するのはもとより、状態の変化に応じて、本人の意向、家族、スタッフ等と話し合い、よりその時その人にあった内容となるよう作成している。	○	サービス担当者会議を開催し、検討を十分に行い、本人のその時にあった介護計画を作成するようにしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録チェック表や介護日誌に、日々の様子やケアの実践を個別記録することにより、情報を共有してケアや計画の見直しに活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	継続的な生活の支援・受診・外出・買い物・必要手続きの支援をしている。	○	地域の開業医や訪問看護の連携により24時間健康管理による支援の実施を行っています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議や、消防訓練、救命救急訓練など、協力してもらっている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域が主催する「いきいきサロン」や夏祭り、市の行事、幼稚園の発表会にも参加させていただいている。	○	8020運動参加し、表彰受ける。地域主催のカラオケ大会に出場し、歌手になりたかった利用者さんの夢を支援している。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	近隣の独居高齢の方をホームへ招き、話し相手や見守り、訪問など地域包括支援センターと協働して行なっている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の通院介助。契約医療機関の月1回の往診の支援、週1回の訪問看護、緊急時対応の確立をし、すぐ連絡できる体制をとっています。	○	入居者の身体状況を常に把握し、かかりつけ医に相談しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者をよく知る医師との連携を図り、認知症についても、相談したり、診断、治療を受けられる支援を行なっています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護と、日常の健康管理や、相談しながら医療活用の支援を行なっている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院後の対応について病院より情報、助言をもらい、訪問看護に引継ぎ、早期退院にて安心して暮らせるよう努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	緊急時の対応・看取り時期の医療内容・看取り同意書など作成し、家族や係り付け医と話し合い、往診・訪問看護師の協力により看取りをしました。	○	高齢(96歳)のため「積極的治療はしない」とのご家族の意向により、医師、訪問看護師、ホームの連携により、お二人見取りをしました。 内お一人は、身寄りのない方であった為、葬儀まで行いました。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	普通の住宅のため出来ない事も多く、医療機関や他のサービス機関の利用も含め支援に取り組んでいる。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移転先には決め細やかな情報を提供し、家族と協力してダメージの軽減に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに配慮した言葉かけ、個人情報の守秘義務をスタッフ全員心がけている。	○ 個人情報の取り扱いには、注意しています。特に日誌については、イニシャルで記入し配慮しています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何気ない会話の中から思いや希望を表せるよう働きかけている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活で一人ひとりのペースが違うので全員の希望にそうなのは無理があるが、自由に過ごしてもらい、出来るだけ希望に添えるようにしている。	○ 食事などの基本的な時間は決まっているが、本人の体調や希望に合わせて臨機応変に対応しています。又、その日の状況と本人の希望に合わせた行事を行っています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服は好みの物を着てもらい、季節感などのアドバイスをしている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるように見た目(食器、盛り付けなど)も考慮し、出来るだけ希望も、とり入れ準備、配膳、片付けなど協力しながら行っています。	○ 懐石風・松花堂弁当・お花見弁当など容器も取り揃え食事が楽しくなる工夫をしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	医療的判断等(健康状態)にもよるが、好みのものを一人ひとりの状況にあわせて出来る限り支援している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	吸水布パンツやパットの使用により、一人ひとりの力や排泄のパターンをチェックし習慣を把握して、気持ちよく排泄できるよう支援している。	○	すぐに、オムツにするのではなく、排泄のパターンの把握、トイレでの排泄の自立に向けた、支援を行なっています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に、週2回の入浴と夏季は、随時シャワー浴もとり入れている。希望があれば、毎日入浴可能である。	○	時に、銭湯なども利用し入浴を楽しむ支援を行なっています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	季節による寝具の入替えや日光消毒、シーツ・パジャマは清潔にし、日中の活動を通し昼夜逆転しない生活リズムを作っています。	○	冬期には就寝前の足浴を行い気持ちよく眠れるよう支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛り付け、配膳、下膳はスタッフと一緒にし、気の合う仲間との雑談、DVDで美しい風景を見ながらカラオケ、裏の畑は夏野菜がいっぱい、収穫を楽しんでおられます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人、ひとりの希望や、力に応じて、お金を所有し、本人の買い物時には、使えるように支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は出来るだけ散歩に行くようにしている。希望により買い物にも出掛けています。	○	ご家族との外出の支援も行なっています。体調に合わせて、公園の散策や神社の参拝なども行っています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お花見や菖蒲園・野外でのバーベキュー大会には家族さんも参加して楽しんでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状の返信は家族さんがされていますが、電話の支援はしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問してもらえるよう、声かけもしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者、管理者が研修で学んだ事を全員に伝え、理解している。 現在身体拘束対象者はいません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害をスタッフ全員が理解しており、ベル音で入居者の出入りを把握するようにしています。	○	玄関は日中は一切鍵をかけず、玄関の開閉時チャイムやベル音にて感知できるよう配慮しています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個々の状況を把握し、さりげない声掛け、見守り、介助するよう心がけている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状態に応じて見守り、危険を防ぐ取り組みをしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	手すりの設置やIHの使用、一人ひとりの状態に応じた介助をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	上級救命講習の受講。救急車の要請時マニュアルの作成をしている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	状況に応じての出入り口や避難経路を話し合い、定期的に訓練をしている。最寄の消防署に緊急時の協力を依頼している。	○	随時スタッフによる打合せで個々の状況に合わせた避難方法を設定しています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族に日頃の行動を報告し、リスクについても説明話し合いをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	電話や、面談にて状況説明し、相談しながら対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ごとに分包し、薬の説明書は共有している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心の食事で食物繊維の摂取、水分補給、ビフィズス菌(サプリメント)服用、ヨーグルトも食事に提供している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の力量に応じて任せる事もあるが、歯磨き後は、薬用デジタルリンスで口を濯いでもらう等支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日30品目の摂取を心がけて調理している。水分摂取を促し習慣に応じた支援をしている。	○	個々の食事量を把握し、それに合わせた配膳を行っている。 水分チェック表により確認している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後、食事前、トイレの手洗いはスタッフ共に励行、感染症マニュアルも作成している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器・調理器具は利用者さんと手洗い後、食洗機にて洗浄、乾燥 週1度食材の点検管理		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にはいつも花を咲かせる工夫をしている。木彫りの温かみある手作りの表札。	○	普通の民家で違和感なく出入りでき地域回覧版も回して、もらっています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を取り入れた額やタペストリーを飾り、開放感のある窓には、ヨシズやカーテンにて光の調整をしている。		クリスマス、お正月、節句などの行事には、一緒に飾り付けを行い季節感を感じてもらっています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先ソファーやリビングにて思い思いに過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人、家族の希望もとり入れ、相談し、馴染みのものを持ってきていただき、居心地良く過ごせるように支援しています。	○	居室には、使い慣れた家具、仏壇など、その人に応じ、持ち込まれています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇や扇風機の使用、空気清浄機、湿温度計を設置こまめに調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所に手すり、階段には両側に手すりをつけ、安全に上り下りできるようにして、身体機能を維持して自立した生活が送れるようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室に名札を取り付け、その他も表示などで混乱を防いでいる。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	夏季には実のなる野菜や花を植えて、水遣りや収穫を楽しんでいる。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「普通の家で、普通の暮らしを」をモットーにひとり一人憩いの我が家で生活できる環境をご準備しています。毎日の楽しみであるお食事は、栄養バランスは勿論のこと、みんなで育てた家庭菜園の旬の食材をつかい、味、見た目にもこだわった家庭的で暖かいお食事を提供いたします。